

災害福祉支援 通信

2025年12月2日 Vol.13

全国社会福祉協議会 全国災害福祉支援センター

○本メールニュースは、都道府県災害福祉支援ネットワーク主管課・事務局、都道府県社会福祉協議会災害福祉支援部局、災害福祉支援ネットワーク中央センター企画協力員等の皆様へ①災害福祉支援に係る情報、②全国災害福祉支援センターが実施する事業等の案内等をご提供いたします。

今号のトピックス

1. 令和7年大分市佐賀関の大規模火災での支援活動について
(大分県 DWAT／大分市社協)
2. 避難生活における障害のある方の困りごとに関する報告書・パンフレット
(障害関係団体連絡協議会)

1. 令和7年大分市佐賀関の大規模火災での支援活動について (大分県 DWAT／大分市社協)

11月18日に発生した大分市佐賀関での大規模火災により、大分市では避難所が設置され、大分県 DWAT が支援活動を行っています。また大分県社会福祉協議会では、災害ボランティアセンター(大分市地域くらし応援センターさがのせき)の設置・運営が行われています。全社協では、大分県社協と連携し、情報共有や必要な支援につなげる取組を行うとともに、職員を派遣して運営支援を実施しています。(11月22日～11月27日)

○大分 DWAT の活動について

佐賀関市民センターに避難所が開設されたことを受け、大分 DWAT(災害派遣福祉チーム)は、発災翌日の11月 19 日から被災者支援活動を開始しています。

19 日～20 日は先遣隊が避難所を訪問し、その後 21 日から大分 DWAT のチーム員の派遣を開始し、避難されている方の生活を支えています。

- ・生活環境の改善(ベッドやパーティションの設置)
- ・環境の改善(感染対策、清掃)
- ・困りごとの把握(アセスメント)
- ・保健医療福祉チームとの連携 等

発災後1週間程は 120名程の避難者が避難所で生活しており、DWAT も各クール 5～6名程で活動を行っています(現時点では 12 月 18 日まで活動予定)。

○大分市災害ボランティアセンター(大分市地域くらし応援センターさがのせき)の活動について

大分市社会福祉協議会では、11月20日から災害ボランティアセンター(名称:大分市地域ささえあいセンター)を設置し、避難所である佐賀関市民センターでお困りごと相談窓口を設置し、被災者のニーズ把握に努めています。その後、「大分市地域くらし応援センターさがのせき」に名称を変え、相談窓口を大分市社協佐賀関事務所に移し、避難所で生活される方々やご自宅に戻られた方々へのニーズ調査・現地調査を行っています。

2. 避難生活における障害のある方の困りごとに関する報告書・パンフレット(障害関係団体連絡協議会)

災害時の避難生活における障害のある方の困りごとと、その解決方策や避難所運営のあり方について、全社協・障害関係団体連絡協議会(阿部 一彦 会長／以下、障連協)では、広く社会への理解促進に取り組んでいます。

障連協は、当事者団体を中心とする20の全国団体の参画のもと、共生社会の推進とともに、障害者と家族が安全・安心に暮らせる地域生活の実現のために必要な発信等を行っています。

2022年度からは「避難生活における障害のある方の困りごとに関する研究」を開始し、2025年3月に研究成果物としての報告書とパンフレットを公表しました。

報告書では、避難所や自宅等での具体的な困りごとと考えられる解決策、各行政機関の災害対策における当事者参加の状況、新しい避難所運営のあり方を整理するとともに、障連協構成団体の協力のもと、能登半島地震を踏まえた体験談のコラムなどをまとめました。

またパンフレットでは、障害のある方や家族にとって避難生活は平時より一層過ごしづらく、生命の危険にさらされる場合があること、さらに事前の備えや発災時に周囲ができることをわかりやすく伝えています。

報告書・パンフレットは、下記全社協ホームページからダウンロードいただけます。関係者の皆様にはぜひご覧のうえお近くへの共有をいただき、全国各地の行政機関や関係機関、避難所運営に関わる方々のご理解のもと、避難生活における支え合いへつながることを期待しています。

全国社会福祉協議会「障害関係団体連絡協議会」

<https://www.shakyo.or.jp/bunya/shougai/dantai/index.html>

→「主な研究事業」>「2022 年度から 2024 年度 避難生活における障害のある方の困りごと」をご参照ください。

・「避難生活における障害のある方の困りごと・解決方策の整理～避難生活における障害のある方の困りごとに関する研究～」(PDF)

https://www.shakyo.or.jp/bunya/shougai/dantai/hinan_houkoku.pdf

・パンフレット「避難生活での支えあいー障害のある方と家族の困りごとー」(PDF)

https://www.shakyo.or.jp/bunya/shougai/dantai/hinan_pamph.pdf

障連協では 11 月 28 日、この報告書・パンフレットも取り上げつつ、「障害のある方の災害時の備えをともに考える～災害法制の改正を理解し、能登半島地震を振り返り～」をテーマにセミナーを開催しました。

障連協構成団体等から 40 名を超える参加のもと、全国災害福祉支援センターからの説明や、社会福祉法人佛子園の 村岡 裕 専務理事からの実践報告等を通じ、意見交換と理解の推進を図りました。

障連協では引き続き、各所と連携して、災害福祉支援を考えていきます。

※障害関係団体連絡協議会は、全社協 高年・障害福祉部が担当しています

報告書・パンフレットに関するお問い合わせは、高年・障害福祉部まで

TEL. 03-3581-6502 z-shogai@shakyo.or.jp

お問い合わせ

全国社会福祉協議会 災害福祉支援センター【蓮子(はし)、駒井、井上】

z-saigai_shien@shakyo.or.jp